

令和3年度第3回大分市総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和3年10月13日(水) 10:00~11:15

2. 場 所 議会棟4階 全員協議会室

3. 出席者

○総合教育会議構成員

大分市長	佐藤 樹一郎
大分市教育委員会教育長	佐藤 光好
大分市教育委員会委員	古城 和敬
大分市教育委員会委員	上杉 美穂子
大分市教育委員会委員	古城 一
大分市教育委員会委員	岡野 涼子
大分市教育委員会委員	廣津留 すみれ

○事務局

企画部長	伊藤 英樹	教育部長	末松 広之
子どもすこやか部長	藤田 恵子	教育監	高橋 芳江
企画部審議監	広瀬 正具	教育部審議監兼文化財課長	坪根 伸也
企画部審議監	高橋 賢次	教育部次長	桑野 徹
企画部審議監兼スポーツ振興課長	三好 正昭	教育部次長兼教育総務課長	高田 隆秀
企画部次長兼企画課長	小野 晃正	教育部次長兼社会教育課長	村上 雄二
子どもすこやか部次長兼保育・幼児教育課長	朝来野 浩	学校施設課長	新納 健二
保健総務課長	衛藤 祐一	体育保健課長	清水 篤
保健予防課長	後藤 哲也	人権・同和教育課長	高橋 秀徳
子育て支援課政策監	安東 洋子	大分市教育センター所長	佐藤 義仁
企画課参事補	足立 威士	学校教育課参事	大久保 敬
企画課主査	上杉 幸喜	教育総務課参事	梶取 隆之
		大分市教育センター参事補	柴尾 則子
		教育総務課参事補	黒木 眞由美
		教育総務課参事補	三嶋 みどり
		教育総務課主査	園田 哲也

4. 次 第 (1) 開 会

(2) 議 事

①学校等における新型コロナウイルス感染症への対応について

②令和4年大分市成人記念集会について

③一人1台端末の活用状況について

(3) 閉 会

<p>開会 企画部長</p>	<p>ただいまから、令和3年度第3回大分市総合教育会議を開会いたします。会議の進行を務めさせていただきます、企画部長の伊藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは初めに、本会議の議長であります、佐藤市長からご挨拶申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>おはようございます。</p> <p>大分市長の佐藤でございます。</p> <p>第3回大分市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>前回は、廣津留委員から「次代を担うグローバル人材の育成」について、大変貴重な講演をいただきました。大変勉強になりました。ありがとうございました。</p> <p>コロナの状況について、市長メッセージを2枚配付しておりますが、やっと最近、感染状況も落ち着いてきて、大分市の場合は、増える時も全国から2週間ぐらい遅れて増えるのですが、減る時も他県より遅れて減るような状況です。ここ数日は、感染者1人という状況が続いています。今回のデルタ株は、感染すると家族全員に広がっておりますので、小学校、中学校のお子さんもかなり感染しました。ただ、学校内でクラスターが発生していないところが、やはり学校で非常にしっかりとした取組をいただいているということではないかと思えます。</p> <p>このような中で、今回は、学校等での新型コロナウイルス感染症への対応、令和4年大分市成人記念集会、一人1台端末の活用状況の3点をテーマとしております。成人記念集会は、昨年は中止しており、メッセージをオンライン上で発信する形となりました。今年は、是非開催したいということで、広い会場の昭和電工ドームで開催することにしております。まだ陽性者が多い時期に今年は開催すると発表したものですから、なぜ今発表するのかという批判も結構出たようですが、今回大分市が進めているワクチン・検査チェックを取り入れます。先週開催されたサイクルフェスでも取り入れまして358人にご協力いただき、51人が抗原検査を行い全員陰性でありました。成人記念集会では、2,000人ぐらいが参加されると思います。安全性を確保しながら、皆で集まって新成人を祝いたいと考えており、ご説明させていただく予定です。</p> <p>それから、学校が臨時休業になっているところはありませんが、学級閉鎖は時々あり、そのような状況の中で、やはりオンラインの教育は重要だということで、一人1台端末の活用状況についてご説明して、ご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>

<p>企画部長</p>	<p>夏休みの間に多くの教職員にワクチンを接種していただいているところですが、感染状況がこれからどうなるか分かりませんので、そういう意味でも様々な備えをしていくことは重要だと思います。本日はそのような観点からもご意見をいただければと思います。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、本会議の議長であります佐藤市長をお願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは、1つ目の「学校等における新型コロナウイルス感染症への対応について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>保健総務課長</p>	<p>資料1の1ページ、新型コロナウイルス感染者の発生状況についてご説明いたします。</p> <p>(1) 感染者の発生状況や検査体制について、①の感染者の発生状況についてです。令和3年10月11日現在の陽性者数や入院中等の人数を記載しております。大分市では、4,370人の陽性者が発生し、4,252人の方が退院され、42人の方がお亡くなりになりました。</p> <p>②の大分市民等のPCR等検査件数及び陽性者数についてです。</p> <p>青い色の棒グラフは、月別の検査件数、赤色の折れ線グラフは陽性者数を表しております。令和3年4月から6月にかけての第4波では、5月に871人の陽性者が発表されております。7月から8月の第5波では、8月に過去最高の1,751人の陽性者が確認されております。</p> <p>その下の市内感染者に係る年齢構成の推移をご覧ください。発生時からの状況と比較しますと、今年6月以降については、10歳未満及び10代の割合が増加していることと、60歳以上の方の割合が減少していることが確認できます。</p> <p>第5波の特徴としては、感染力の強いデルタ株により、感染経路として仕事や帰省等による県外由来やお盆で親族との会食を通じて家族内感染で広がっている事例の報告がありました。</p> <p>また60歳以上の方の割合が減少していることにつきましては、ワクチン接種の効果によるものが大きいと考えております。</p> <p>続きまして、2ページ上段の③大分市抗原検査センター設置については、JR大分駅北口に本年4月29日から県外からの移動者を対象とした抗原検査と5月7日からは、市内の商店、飲食店の利用者と従業員を対象にした抗原検査の受検者数の推移を掲載しております。</p> <p>このグラフからは、8月初旬から県外移動者の数の多さが目立っており、その後、お盆を過ぎたころから市内の陽性者が大きく増加したことに伴い県外移動を伴わない商店、飲食店の関係の受検者が増加しております。こ</p>

<p>保健予防課長</p>	<p>れまでの受検者数は合計で 10 万 51 人、陽性者数 289 人となっております。</p> <p>下段の④大分市抗原検査センター出張所の設置につきましては、8 月の帰省客等、大分市への人流が多くなる時期の対策として、駅前の抗原検査センターに加え、市内 3 ヶ所に自己検査を基本とした検査センター出張所を設置しました。</p> <p>検査合計数は 12,549 件、このうち陽性者数は 80 人となっております。</p> <p>資料 3 ページ、2 の新型コロナウイルスワクチン接種についてご説明申し上げます。</p> <p>新型コロナウイルスワクチン接種対象者につきましては、12 歳以上となっております、接種回数は、現在 2 回となっております。</p> <p>1 の接種状況についてですが、国が公表している VRS ワクチン接種記録システムによる集計では、10 月 6 日現在 1 回目の接種が終わった方は 278,099 人、本市の全人口から見た接種率は 58.1%、2 回目の接種が終わった方は 228,386 人で接種率は 47.7%です。なお、10 月 11 日現在での接種率は、1 回目が 60.3%、2 回目が 50.4%となっております。</p> <p>2 の 65 歳以上の高齢者の接種状況につきましては、約 90%の方が 2 回の接種を終えております。</p> <p>3 の世代別接種状況についてです。これは市が独自で集計したもので、VRS の集計と若干異なりますが、参考値として掲載しております。</p> <p>本市では、年齢の高い方から順に予約の受け付けを開始し、接種を行ってまいりました。9 月 6 日から全世代に対しての予約を開始したところですが、若い世代の接種率が低い状況となっております。接種を希望する方で、予約や接種されていない方への対する周知や広報に引き続き努めて参ります。</p>
<p>学校教育課参事</p>	<p>資料 4 ページ、大分市立小中学校及び義務教育学校等における対応についてご説明させていただきます。</p> <p>令和 3 年 8 月 17 日に、大分県は県内状況評価をステージ 2 から 3 に移行いたしました。本市におきましても、感染者が増加していたことから 8 月 25 日水曜日から 27 日金曜日までの 3 日間を全市一斉の臨時休業とし、8 月 30 日月曜日から 9 月 10 日金曜日までの 2 週間については、児童生徒一人一人に最大限の学びを保障するため、学年別等に登校日を設定した分散登校を実施いたしました。</p> <p>分散登校期間中は、小学校 1 年生から中学校 2 年生までは週 2 回、中学校 3 年生は週 3 回を基本とし、学級を小集団に分けた午前中 4 時間の指導、給食後、下校といたしました。なお、小学校 5、6 年生と中学校 1、2、3 年生には、家庭へタブレット端末を持ち帰らせ、同時双方向による健康観察</p>

<p>体育保健課長</p>	<p>や課題等の連絡、オンラインでの学習支援などに活用しました。</p> <p>続きまして、5ページをご覧ください。</p> <p>2学期における学校行事につきましては、運動会、体育大会は小中学校とも9月実施の34校は、10月以降に延期し、10月、11月実施校は、各学校の計画通りに実施いたします。</p> <p>修学旅行は、10月実施の小学校26校は、11月以降に延期し、11月以降の実施校については予定通りの実施です。その他の学校行事につきましては、資料に記載のとおりです。</p> <p>まず、部活動につきましては、ステージ2へ移行した9月27日以降県内の学校との合同練習や練習試合を認め感染対策を講じながら、部活動を実施しているところです。</p> <p>6ページ、(4)ガイドラインに基づく感染症対策についてですが、感染症対策につきましては、大分市教育委員会が策定したガイドラインに基づき各学校において感染症対策に取り組んでおります。</p> <p>まず、①の健康観察の徹底ですが、家庭との連携のもと、健康観察カードを活用し、児童生徒と同居家族の健康状態を把握するとともに、発熱等風邪状況がある場合等については、自宅で休養することを徹底しております。</p> <p>また、現在大分県の感染状況の評価は、ステージ2ですので、同居家族に発熱等の風邪症状が見られる場合にも登校を控えることとしております。</p> <p>次に、感染症対策チェックリストの活用として、文部科学省の学校等における感染症対策チェックリストを全教職員で定期的に確認するなど、対策の徹底を図っているところです。また、新型コロナウイルス感染症は、マイクロ飛沫感染があることも指摘されていることから、③の換気についても一層徹底することとしております。</p> <p>更に④の飛沫感染の予防や⑤の給食等の食事をとる場面での感染症対策も徹底しているところです。</p> <p>次に(5)感染者が判明した場合の対応についてですが、8月以降の大分市の急速な感染拡大を受け、本市教育委員会では、文部科学省が作成した学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドラインを参考に、学校において感染者が確認された場合の対応について、臨時休業の範囲や条件などを新たに示したところです。①の基本方針にありますように、臨時休業が必要な場合は、学級単位で行うこととし、判明した感染者が1名であっても、その学級について感染者が最後に登校した翌日から7日程度目安に学級閉鎖を行います。更に、感染拡大を踏まえて③の学年閉鎖や次のページ④の学校全体の臨時休業を行うこ</p>
---------------	---

<p>学校施設課長</p>	<p>ととしております。また、各学校の発生時の対応フロー等を示すとともに、感染者等が発生した場合の基本的な対応をあらかじめ学校から保護者に知らせており、感染者が確認された場合の体制の強化を図っているところで</p> <p>す。</p> <p>資料7 ページ (6) の感染症対策に係る施設整備についてご説明いたします。</p> <p>1 つ目の自動水栓整備につきましては、全小中学校及び義務教育学校のトイレ手洗い場の蛇口を自動水栓に改修するもので、9 月末で既に完了しております。</p> <p>2 つ目のトイレ洋式化改修工事につきましては、本年度整備予定 100 基のうち 9 月末時点で 51 基の洋式化を完了しております。</p> <p>3 つ目のその他、学校教育活動継続支援事業につきましては、感染症対策に係る消毒器やサーモカメラ等の学校現場で必要が生じた物品等の購入などについて、各学校長の判断で迅速に購入できるよう追加予算を配当し支援しております。</p>
<p>人権・同和教育課長</p>	<p>資料7 ページ (7) 新型コロナウイルス感染症による偏見や差別への対応についてご説明させていただきます。</p> <p>学校においては、全教職員が共通理解のもと、偏見や差別を起こさない学校づくりを進めております。</p> <p>そこで、大分市教育委員会としましては、偏見や差別を起こさないための取組や起きた際の対応などについてまとめたチェックを作成し各学校に送付しております。</p> <p>このチェックシートは、感染状況等の変化に伴い随時改定を行い、6 月にはワクチン接種に関して偏見や差別を起こさないために項目を加え、各学校に送付しております。</p> <p>また、これまでと同様、偏見や差別の対応について、学校が困りを抱えた際に人権・同和教育課や人権・同和対策課に相談しやすい体制づくりを進めているところで</p>
<p>保育・幼児教育課長</p>	<p>(8) 幼稚園、保育所における感染症対策についてですが、幼稚園及び保育所においては、新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドラインと吐物処理の対応マニュアル、保健マニュアルによる感染症対策に徹底に引き続き努める共に、巡回指導などの機会を活用して感染症対策の周知徹底に努めております。</p> <p>加えて、市立幼稚園等のトイレ及び保育室の手洗い場の蛇口を自動水栓化するための改修工事を行っており、本年度中に完了する予定です。</p>

	<p>次に (9) 放課後児童クラブにおける感染症対策については、感染症拡大防止に十分に留意しながら原則開所しておりますが、当該小学校等で関係者が感染した場合には、濃厚接触者の確認や必要に応じて消毒作業を行うことから保健所の指示に従い確認できるまで臨時閉所としております。</p> <p>また、小中学校等同様に自動水栓化を順次進めており、本年度中に完了する予定です。</p>
スポーツ振興課長	<p>8 ページの (10) スポーツ少年団における感染症対策についてご説明いたします。</p> <p>スポーツ少年団の活動は、大分市保健所及び学校長の指導に従うとともに学校部活動等に準じた対策を講じております。</p>
市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ご質問等がありましたらお願いします。</p>
古城 (一) 委員	<p>7 ページの (7)、偏見や差別への対応について、チェックシートを配られていること、また、チェックシートは随時改定を重ねていることを伺いましたが、児童生徒にはどのような形でチェックシートについて伝えられているか教えてください。</p>
人権・同和教育課長	<p>チェックシートは教職員用に作っております。1 番大事なことは、感染者は加害者ではなく患者であるということです。患者となった子どもたちが長期にわたって休むわけで、それが悪いことであるかのような扱いにならないように、登校した際どうやって迎えるかを子どもたちと共に考えていけるようにチェックシートを作成し、教職員向けに配っているところです。</p>
古城 (一) 委員	<p>はい、分かりました。</p> <p>大事な点ですので、よろしく願いいたします。</p>
上杉委員	<p>7 ページの同じ項目ですが、他県ナンバーの車が県内を走っているのを見ました。大人が社会をこのような目で見ている場に、子どもたちが違和感というか、なぜという思いがあるのではないかと思います。この点については、うまく言えない気持ちを汲み取ってあげられるような空間づくりとか、なかなか苦しい思いがある中で、子どもに寄り添う時間などを確保していただきたいと思います。</p>
人権・同和教育課	<p>おっしゃるとおりだと思います。子どもたちに寄り添う時間は大切です。</p>

長	<p>ので、子どもが悩みを抱えていないか、困りを抱えていないか、教職員は すぐくアンテナを高くしております。</p> <p>陽性者が出た学校、学級閉鎖になった学校に対しては、こちらから先に 連絡を取るようになっております。学校の教職員は、共通認識のもと、子ど もたちの様子をしっかりと見るという取組を進めているところです。今の ところ学校から大きな差別があったという報告は全くございません。本当 に学校の教職員が頑張っていると感じるところでございます。</p>
古城（和）委員	<p>罹患後の後遺症について、児童生徒、教員に対しての調査は行っている のでしょうか。</p>
体育保健課長	<p>学校に復帰した日などは確認していますが、どのような症状であったか や、後遺症があるのかというところまでは確認していません。</p>
市長	<p>保健所から何かありませんか。</p>
保健総務課長	<p>個別の症状等については把握しておりません。</p>
古城（和）委員	<p>そういった形で悩んでいる方もいらっしゃるのではないかと思います。</p>
市長	<p>教職員も早めに治療を受けられており、後遺症もないという方が大部分 のようでありますけど、必要があれば、そのようなところも調べた方がよ いかもしれませんね。</p> <p>子どもの場合は、大人や基礎疾患がある方に比べると症状も軽いよう ですが、そういうことを含めて、これからフォローしていくことが必要かも しれません。</p> <p>それでは、議事2つ目の「令和4年大分市成人記念集会について」事務 局からお願いします。</p>
社会教育課長	<p>資料の説明に入る前に、今回、昭和電工ドーム大分に会場を変更いたし ましたので、改めて開催場所の変更の経緯についてご説明させていただきます。</p> <p>本市の成人記念集会は、昭和24年から満20歳に達する青年の前途を祝 福することを目的に開催されており、平成26年からは、J:COMホルトホ ール大分を会場に実施してきました。しかし、昨年度はJ:COMホルトホ ール大分でもし開催した場合、雨天時に多くの新成人が施設内に密集し、感 染対策が十分に取れないため集会形式での式典を断念せざるを得ません でした。動画配信やフォトコンテストに変更して実施いたしました。一生</p>

に一度の成人式を皆で集まって祝福できなかったことは、大変申し訳ないと思っておりました。そのため、今年度は何としても集会形式での式典を開催し、新成人が直接顔を合わせ、喜びを分かち合う機会を設けたいという思いから、収容人数が多く、雨天時でも3密を避けられる昭和電工ドーム大分に会場を変更することとしました。

それでは、これより資料に添ってご説明させていただきます。

まず成人記念集会の概要ですが、令和4年大分市成人記念集会は、新成人に祝福と激励を贈り、地域社会を担う一員としての自覚を促すことまた、若者の希望や意見を集会の企画運営に取り入れることにより、成人の自己啓発の場とすることを目的に令和4年1月9日の正午より昭和電工ドーム大分で開催いたします。

成人記念集会当日は、左の中ほどのスタンド図にありますように、新成人にメインスタンドの赤枠部分に囲ったところに座っていただき、その右の拡大図のようにトラック部分に仮設ステージを設置いたします。

メインスタンドの赤枠部分だけで4,766席ございます。参加する成人は、2,000人前後と見ておりますので、間隔を空けて座っても十分収容が可能です。

また、ステージの様子はドーム内の大型ビジョンに映し出すように計画しております。

今年度の対象者は、平成13年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた方で、10月1日現在4,447名いらっしゃいます。大分市出身及び大分市に通勤・通学・居住している方が対象となっており、現在大分市に住民票がない方もご参加いただけます。

式典の内容については、成人記念集会実行委員会を中心に協議を重ね、決定します。今年度は、本人の希望または学校・企業の推薦により新成人10名が実行委員となっており、9月から月2回の実行委員会を開催しながら協議を進めております。

9月16日開催した第2回実行委員会では、今年のテーマについて協議しました。その結果、今年のテーマは、コロナ禍の今だからこそ、当たり前で過ごせる日常を大切にしながら、20年間の様々な奇跡に感謝し、これまでの軌跡を振り返るとともに、これからの夢や目標を語る1日にしてほしいという想いを込めて「キセキ～日常に感謝～」に決まりました。今後も実行委員会企画等について、協議していく予定となっております。

次に、新型コロナウイルス感染症対策についてご説明いたします。

基本的な感染症対策につきましては、事前にホームページ等を通じて、発熱等の症状のある方は、参加を控えるようお願いするとともに、当日は受付を設け、検温・手指消毒を行うとともに、会場内でのマスク着用や間隔を空けて座っていただくなど、3密を避ける対策を取ります。大分市ワク

	<p>チン・検査チェックの導入につきましては、会場の入り口等でワクチン2回接種済みまたは抗原検査済みの確認を任意で行います。</p> <p>詳細については、今後大分市で実施されるイベントの試行結果を分析し、成果や課題等を踏まえて検討していきたいと考えております。</p> <p>次に会場へのアクセスについて、ご説明いたします。</p> <p>先日実行委員を通じて、今年の新成人112名に当日の来場方法について、アンケートを実施いたしました。その結果、自分や他の新成人が運転する自家用車で来場する方は46%、家族等の送迎が48%、タクシーが2%、路線バスが4%となっており、多くの方は自家用車で来場されると考えております。</p> <p>昭和電工ドーム大分には、専用の降車場や多数の来場者を収容できる無料駐車場もあるため十分に対応が可能だと考えております。</p> <p>自動車や送迎による来場が難しい方につきましては、今後路線バスやタクシーの増便について、バス会社、タクシー会社と協議を行ってまいります。定額タクシーについては、大分市タクシー協会が昭和電工ドーム大分で開催されるイベント時に定額タクシーを運行しており、大分駅、高城駅から定額で会場まで移動することができるため、成人記念集会の当日は、定額タクシーの運行を依頼してまいります。</p> <p>警備体制については、当日自動車で来場されることが多く見込まれるため、ドーム周辺の道路や駐車場に警備員を配置し、送迎の車については、所定の場所まで誘導してスムーズに乗り降りができるようにするなど混雑や事故の無い警備体制を確保してまいりたいと思っております。</p> <p>来年は是非やりたいということで、このような企画になっております。それでは、ご質問・ご意見等はございますか。</p> <p>大分市ワクチン・検査チェックを導入し、ワクチン2回接種済みか確認を行うということですが、先ほどの接種状況を見ると10代の接種率が36.3%で、もう少し上げられたらと思う反面、ワクチン接種に抵抗がある方もいると思います。高齢者の接種率は91.1%であり本当に素晴らしいと思いますが、10代の接種状況についてお聞かせください。</p> <p>高齢者から順にワクチン接種を行ってまいりました。最終的に若い世代が接種できるように9月6日から接種の受付を開始しました。そのようなことから接種の開始が少し遅れている状況にあります。また、若い世代に対しては、周知等が不足していると思いますので、マスコミなどを通じて接種率の向上に努めてまいります。</p>
市長	
廣津留委員	
保健予防課長	

廣津留委員	<p>現在、接種したくても予約ができないという状況なのでしょうか。</p>
保健予防課長	<p>医療機関、接種センターで予約枠の拡大等を行いながら、接種体制の整備を行っております。しかし、10月の後半ぐらいから、医療機関や接種センターの予約が埋まっていない状況がありますので、その辺りは課題として認識しております。</p>
市長	<p>空きがある状況なのでインセンティブを高めていかなければいけません。大分市ワクチン・検査チェックや、例えばトリニータの試合の市民招待DAYで、ワクチン接種者を優先的に招待とか様々なことをしないといけません。高齢者の方は命に関わるという認識もあって接種しています。若い人たちは、軽症者が多かったということや、副反応の心配もあり、どちらかという打ちたくない、接種しなくてよいのであればそのままという方が多いのではないかと思います。そういう意味でもいろいろ工夫していく必要があります。大分市ワクチン・検査チェックは、ワクチン接種のインセンティブを高める効果もちょっと期待ができるのではないかと考えております。</p> <p>他にご質問はございませんか。</p>
古城（一）委員	<p>会場のアクセス等のことについて質問です。</p> <p>SDGsの観点からいくと、自家用車による送迎や、駐車場の整理等も同じ時間帯に重なることから、感染に気を付けながら、市でバスを準備してはどうでしょうか。タクシー協会の配慮で定額タクシーの運行にも協力いただけるようですが、それでもやはり高額になるかと思えます。</p> <p>もう1点、秋頃のトリニータの応援でも寒い状況ですが、1月9日はかなり寒いと思います、晴れ着を着られていて大丈夫なのかもしれませんが、防寒対策も含めて、どうなのかと思いました。</p>
社会教育課長	<p>バスの件ですが、アンケート結果で路線バスを使うと答えた方が4%程なので、バスを借り上げるという状況ではないと考えております。ただ、路線バスを利用される方については、バス会社と協議して、少しでも台数を増やすことはできると考えております。</p> <p>それから、昭和電工ドームはこの時期とても寒い状況です。ただ、J:COMホルトホール大分では、雨天の場合に開催できないということでやむを得ず取った措置ということでご理解いただきたいと思っております。当日寒いということ、新成人の方々にしっかり伝えて、防寒対策をしっかりしていただけるようお願いしたいと思っております。</p>

古城（一）委員	<p>最初の質問について、アンケート結果ではそうだったかもしれませんが、バスの借上げについて、もう一度、課内で協議いただければ幸いです。</p>
市長	<p>それでは、改めてバスの借上げについて検討してください。</p>
岡野委員	<p>大分市は大分県内のロールモデルになるような市です。感染症対応はとて大変だと思いますが、大規模のイベントはこうやればできるということを他の市に示すことができます。成人記念集會もそうですが、今後のイベント開催の1つの指針になるので、現時点で具体的にどのような検査をしようと考えているかを教えてください。</p>
市長	<p>任意と書いていますが、まだはっきり決まっていません。ワクチン接種、あるいは抗原検査をしない人は入れないという方法もあります。また入れるがゾーンを決めるという方法、感染状況が深刻な場合は入れないという方法もあると思います。ゾーンを分けるなども含めて、もう少し検討してみようということで、今のところは任意としています。ちなみに、サイクルフェスのときは、ワクチン・検査チェックに協力された人にはリストバンドを付けて観戦していただきました。コース沿線での観戦を自粛するよう要請しましたが、沿道なのでリストバンドを付けていない人もいました。</p> <p>例えば、祝祭の広場で開催するスポーツオブハートでは、クローズの場所に入ってくる時に、シャットアウトするのか、それともゾーンを分けるのかなど、これからもう少し実績を積んで、それから感染状況を見ながら、判断するというので、今のところ任意と書いています。</p>
廣津留委員	<p>1月9日に2回接種して2週間経過しているとなると、恐らく11月中旬ぐらいには1回目のワクチンを打つ必要があると思います。今の感染状況であれば大丈夫かもしれませんが、昨年も年末年始は感染者が凄く増えた時期でしたので、会場をシャットアウトしなければならない可能性が少しでもあることが皆さん分かれば、ワクチンを接種してから成人記念集會に行こうとなるかと思いますが、時期を見て早めに決めていただきたいと思います。</p>
市長	<p>その通りだと思います。ただ、ワクチンを接種していない人でも、抗原検査を受けてから入っていただくこともできます。サイクルフェスの時は、クリテリウムの時と昭和電工ドームのアーバンクラシックの時と両方の会場に検査場を設けました。同じように、昭和電工ドームの入り口に検査センターを設けて、そこで検査していただいたら、ワクチンを接種しなくても入ることができるので、まだまだ様々な選択があると思います。</p>

<p>教育長</p>	<p>ただ、ワクチン接種を出来るだけ促進するという意味では、ワクチンを接種していればすぐに入れるが、接種していないと抗原検査で15分待つからでないといけないなどの強めのメッセージとした方が35%の接種率を少しでも上げる効果があるのも確かです。そういう意味では、できるだけ早く決断する必要があります。</p> <p>去年できなかった成人記念集会ですから、今年は何としてもやりたいということで、新成人の皆さんには企画をしていただいているところですが、まだまだ検討の余地があります。ワクチンをまず受けてもらうように呼びかけをしっかりとしていきたいですし、ワクチンを接種していれば入場に時間がかからないなど、何らかの特典を含めて、検討していきたいと思っております。</p>
<p>上杉委員</p>	<p>会場へのアクセスについて、大半の方が自家用車で来られるということですが、ここで大きなイベントがあるたびに、渋滞が発生している状況や、明らかに居住者でない方の車が多くなったり、駐停車が多くなったりという状況もあります。できれば団地の方までパトロールをしていただきたいと思います。また、隣接する商業施設もあるので、集会後の初めての飲酒や集まりがあるのではないかと思います。冬休み最後の週末なので、近くの小学生や中学生も商業施設に出ていると思いますので、範囲を広げてパトロールや警備体制をとっていただけると助かります。</p> <p>また、路線バスの停留所が離れており、着物の方、車いすの方にとって既存の停留所から会場までの移動はとても大変なので、臨時の停留所を入り口近くに出来ないかと感じています。</p> <p>ワクチン接種ですが、10代・20代の方は、やはり高齢の方と生活スタイルが違うので、県庁での夜間のワクチン接種枠を増やしていただいている状況ですが、大規模接種会場へのアクセス自体が難しい方や自家用車をお持ちでない方も増えてきているようなので、ワクチン接種会場や時間などイベントに合わせて周知活動していただくなど、工夫がないと、10代・20代の若い世代のワクチン接種率が上がるのは難しいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>警備の話は、どうなっていますか。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>警備体制については、車による暴走がないように、これまでも警察にはご協力いただいております。今回も警察に来ていただくという形でお願いしておりますので、警察と協議しながらどういったことができるのか考えていきたいと思っております。</p>

保健予防課長	<p>路線バスの関係ですが、臨時の停留所ができるのかどうかについては、バス会社と協議していききたいと思います。</p> <p>ワクチン接種については、県庁等で夜間接種を行っており、市内で220ぐらいの医療機関で接種できる体制をとっておりますので、近くの医療機関を利用させていただきたいと思います。</p> <p>また、帆秋病院は広い駐車場がありますし、自家用車をお持ちでない方は、大分駅から子ども病院会場と帆秋病院会場まで、無料でのタクシー送迎も行っております。</p> <p>私どももまた周知に努めて参ります。</p>
市長	<p>帆秋病院も夜間と土日に接種できます。やはり周知が十分にできていないことが大きいかと思いますし、接種率が九州各県の県庁所在地と比べて低いので、接種率を上げるためのテコ入れが必要と思います。体質で接種できない人や接種したくない人は別ですが、迷っている人はできるだけ接種できるようにすることが大事です。</p>
古城（和）委員	<p>J: COM ホルトホール大分で開催されていた成人式では、一部の新成人のみが式場に入り、それ以外の人は広場で中学校区ごとに親交を深めているようでした。今回は、この場で中学校区ごとに集まれるようにしているのでしょうか。</p>
社会教育課長	<p>今までは、いこいの道広場で校区ごとに看板を設置していました。今回はどうするのがよいか課内で検討しているところです。区域を設定すると密にならないかという懸念があります。3密を防ぐ目的のために昭和電工ドームで開催しますので、その辺がクリアできれば、そういった形でもできるのかと考えております。校区ごとにするのか、もう少し広い範囲の地域ごとにするのかなど、課内で協議しているところです。</p>
市長	<p>それでは、時間の関係がありますので、議題2はこれぐらいにさせていただきます。議題3の「一人1台端末の活用状況について」事務局からお願いします。</p>
大分市教育センター所長	<p>資料3をご覧ください。</p> <p>授業の活用については、通常授業及び臨時休業時等にも活用できるソフトウェアとして、主としてウェブ会議システムと授業支援クラウドを活用しており、調べる、まとめる、記録する、配布・提出・共有するなどの機能を活用しております。</p>

端末の実際の操作として、まずは端末の右側の丸いホームボタンがありますので、そちらをタップしてください。皆さんの画面には生徒画面が表示されます。

それでは、生徒が教員と実際に行った作業として、授業支援クラウドを用いて、教員が皆さんに課題を送付してみます。届いた課題を開いていただくと、課題をご確認できるかと思います。こうした課題を見ながら児童生徒はノートに学習していきます。教員に提出することも可能です。

ノートに記載したものを写真に撮って提出することを体験していただきたいと思います。

画面左上のカメラをタップしてください。

カメラ画面に切り替わりますので、そのカメラで机上の筆記用具や資料を撮影してみてください。

撮影されたら、画面右下の使うというボタンをタップしていただくと、写真カードができて画面にファイルが掲示されます。

写真カードを提出ボタンのところにドラックし、10月13日提出箱をタップすると、教員に送られて作業完了となります。

子どもたちは、ノートに学習したものを写真に撮って、教員に提出しておりました。

教員は、提出されたものを一覧として児童生徒に提示することもできます。

教員画面をスクリーンに表示します。こういった状況で様々な考え方、意見等を共有して理解を深める際にも利用できますし、教員が学習状況を確認することも可能になっております。このように、ウェブ会議システムと授業支援クラウドを活用しますと、教室での対面指導においても、また、教室と家庭をオンライン繋いだ学習支援におきましても、有効な学習手段として活用できると考えております。

次に、教員を支援するための取組として、大分市教育センターICT活用支援サイトを開設しております。各種の情報の発信、資料の提供をしております。教職員は、閲覧やダウンロードして資料を活用しております。なお、随時、ICT活用レターで必要な情報をお知らせしております。

また、教職員のICT活用指導力を向上するため計画的に研修を実施するとともに、臨時にオンラインによる説明会を実施しております。各学校では、ICT支援員によるサポートも行っております。

臨時休業や分散登校時における活用につきましては、8月末から9月中旬にかけてオンラインによる学習支援を行いました。ウェブ会議システムを利用して健康観察、課題の説明、連絡事項、学校によっては、人間関係づくりプログラムの活動を行うとともに、先ほどの授業支援クラウドを用いて課題や連絡事項等の送付、ノートや学習状況を撮影した写真等の提出

	<p>を行いました。</p> <p>今後の取組につきましては、平常時の授業における活用に加えて、家庭に持ち帰っての学習の活用のため、その時可能な学習内容や管理等のルール、持ち帰りの頻度等について検討しております。</p> <p>また、臨時休業時のオンラインによる学習支援につきましては、対面指導が難しい場合、ウェブ会議システムと授業支援クラウドは、学習支援をする1つの手段として有効であったと感じておりますので活用して参ります。なお、各教科の特性や児童生徒の発達の段階、興味や関心や集中力、健康面に配慮しながら、一人1台端末を活用していきたいと考えております。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、学級閉鎖をしている中学校においては、国語・社会・数学・理科・英語を中心に1日4から5コマの授業を実施する中、保健体育等の技能教科においても、ストレッチを行うなど内容の工夫をしながら、学習支援を現在実施しているところです。</p> <p>次に、一人1台端末を安全に使うための大分市の環境整備についてでございますが、インターネットにおいては、有害サイトから守るためフィルタリングを設定するとともに、一人1アカウントを付与し、パスワードは、ランダムな英数字や記号等により個別に作成しております。また保護者ととともに、保管・取り扱いについては十分に注意するように指導・連絡しているところです。</p> <p>なお、メールやチャットについては、機能を停止しております。また、情報モラルについては、学校での指導だけではなく、家庭での指導が重要でありますことから、懇談会やインターネット安全教室等において、児童生徒とともに、保護者皆様についても、ご理解とご協力をお願いしているところです。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、今の説明につきましてご質問ご意見ございますか。</p> <p>先日の教育委員会でも使わせていただいて大変スムーズに提出が出来て凄く感銘を受けました。</p> <p>端末にロックはかけられるのでしょうか。もし机の上に置いたままにしていたりすると、他人が使って本人になりすまして操作する可能性があります。また、宿題の提出など端末の操作は、皆さん覚えるのが早いですが、ズームが繋がらない、端末自体が繋がらない場合、誰に聞けばよいのかが一番の課題です。例えば、夜中に宿題をしていて、繋がらない場合どうしたらよいのでしょうか。</p>
市長	
廣津留委員	

大分市教育センター 一所长	<p>端末のロックについてですが、教員が直接指導していますので、個別にロックはしておりません。また、IDとパスワードは個別に全て違うようになっており、一人一人のID・パスワードは保護者に預けています。本人になりすまして入ることは、難しいと考えております。</p>
廣津留委員	<p>端末に入る時に、IDとパスワードを毎回入力するということですか。</p>
大分市教育センター 一所长	<p>ログアウトしなければそのまま入れます。子どもたちの発達の段階によりますが、すべて1つずつ入ると様々なソフトにそれぞれログインが必要になってくることがありますので、現在では一度ログインするとそれぞれに一斉に入れるようなシステムを作っているところです。</p> <p>現状では、自分の端末は自分で管理し、使わないときには適切に保管するという体制で対応しています。また、他都市の事例やインターネットでの心配な状況がありますので、子どもたちの年齢に合わせて、注意を促したり、自分で守る、他人に迷惑をかけないという指導をしたりしているところです。</p> <p>次に、繋がらない場合についてですが、初めて実施したときには、上手くいかないこともありました。ただ、分散登校の時でしたので、事前に子どもたちには繋がらなくても心配しないようにと伝え、また、登校した時に説明するので、心配ないと話していたところです。</p> <p>なお、現在、学級閉鎖等で対応している時にそういった事態があると、個別に連絡して、説明する必要があると思います。また、授業配信を教師が行っているとき、すぐに対応はできない可能性があります。そういった時には、授業が終わった後に個別に連絡して、子どもが安心して学習ができるようにサポートに努めていきたいと考えております。</p>
市長	<p>他に何かご意見・ご質問ございますか。</p>
岡野委員	<p>日田市において、100名以上の生徒が同時に使おうとした際、使用できないことが発生しました。大分市の場合も人数の多い学校もあるでしょうから、そういった時の対応や、同じような事例が発生していないでしょうか。</p>
大分市教育センター 一所长	<p>システムを設計するときに、学校規模に応じて回線の容量を精査しておりますので、そのような状況はございません。</p>
古城（一）委員	<p>一人1台端末の活用について、非常に丁寧に対応されているという印象でした。</p>

大分市教育センター 一所長	<p>少し話がそれますが、例えば、働き方改革推進において、保護者との面談や家庭訪問でズームを利用するなど、この端末をコミュニケーションツールとして使う予定はあるのでしょうか。</p> <p>コロナウイルス感染症のことがあり、家庭訪問を控えたり、時期をずらしたりという状況が生じております。1番心配されるのは、対外的な通信ですので、個人情報に関することです。そうしたこともあり、保護者と子どもと教員だけといった環境の中で、同意をいただけるようであれば1つの手段になるかと考えられます。ただ、現状そこで活用するかどうかについては、検討する課題もあると考えております。</p>
古城（和）委員	<p>通常の人間関係を築いていくことが限られている状況の中で、このような端末を活用ができないかと思っています。資料に記載の人間関係づくりプログラムを各学級で使えるのではないかと思います。現在の活用状況や考えを教えてください。</p>
大分市教育センター 一所長	<p>子どもたち同士のコミュニケーション、それから教員と生徒のコミュニケーションを深めることが、不登校等の防止に繋がるのではないかと考えております。現在、全市で人間関係づくりプログラムを各学校の日常や子どもたちの状況に応じて実施しています。例えば、月1回や週1回15分程度確保して実施しています。また、ズームを使いながら、分散登校時にも実施した学校もありました。先日視察に行った際に、教員がカードに書いた文房具の絵を、子どもたちが質問しながら推理していました。画面を通して笑顔で交流ができ、非常に親しみを持って取り組んでいる姿が見られました。</p>
市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、教育長お願いいたします。</p>
教育長	<p>市長のご挨拶の中にございしましたが、コロナの件は、今本当に落ち着きつつあって、これは大分市それから学校の対応も功を奏していると思います。11月以降の修学旅行は1泊2日という形で実施できそうですし、体育大会等も規模の縮小や応援の数も制約したりということもありましたけど、何とか開催したいと願っているところです。</p> <p>それから、一人1台端末についてですが、分散登校の時に子どもたちが何の抵抗もなく使っている様子を見て、現在5年生以上は持ち帰りをさせていますが、年齢を引き下げてもいいのかなと思っています。</p> <p>また、学級閉鎖で長期の休業に入っている生徒に対しては、学習支援で</p>

<p>市長</p>	<p>はなくて、オンラインで授業を配信していることもありますので、その様子を見ようかと思っているところです。使い始めたばかりですが、これが軌道に乗り定着するかは、この1、2年が勝負かと思っていますので、こちらもしっかりと力を入れていきたいと思っています。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>コロナは下火になっておりますけども、まだまだ課題はたくさんありますので、こういうICTも活用しながら引き続き取り組んでいただきたいと思えます。</p> <p>それでは、今日は本当に貴重なご意見等ありましてありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局お願いします。</p>
<p>企画部長</p>	<p>ありがとうございました。以上をもちまして、令和3年度第3回大分市総合教育会議を終了いたします。</p> <p>次回の開催日程や議題等につきましては、事務局で調整させていただき、改めてご連絡申し上げます。皆様、本日は誠にありがとうございました。</p>